

2022
9 月

月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第 217 号-①【基準日 2022 年 8 月 31 日】



🌸 社長メッセージ



ありがとうファンド 18 周年を迎えて

ありがとう投信株式会社
代表取締役社長 長谷 俊介



皆さま、いつもありがとう投信をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。9月に入りすっかりしない不安定な天気が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか？

先月8月のマーケットは、世界的なインフレ高進リスクが高まる中で利上げ動向に左右される1ヶ月になりました。月初から月中にかけては米国での物価上昇率が高止まりしているもののピークアウト期待が出てきたことから、楽観的な見通しが広がってグロース株中心に上昇しましたが、月末のジャクソンホールでのFRBのパウエル議長の講演でインフレを抑制するために今後も積極的な利上げを続けていくタカ派的な発言をしたことをきっかけに調整して1ヶ月を終えました。

そのような中で、ありがとうファンドは月間で+1.5%の上昇となりました。参考までに世界株は+0.5%の上昇となり、日本株TOPIX配当込みについては+1.2%の上昇となり相対的にアウトパフォームしました。



ありがとうファンド第18期決算を迎える

さて、皆さまのありがとうファンドは8月31日に第18期決算を行いました。先行き不透明なマーケット環境が続いていますが、無事に決算を迎えることが出来たことに感謝申し上げます。これもひとえにお客さまをはじめ、株主、役員、投資先関係者、取引先等、ステークホルダーの皆さまのご支援の賜物であると感謝しております。誠にありがとうございます。

この1年間を振り返ってみますと、昨年末までと今年年初からでマーケット環境はガラッと大きく変わった1年でした。各国政府・中央銀行による大規模な金融緩和と財政出動に支えられる中、経済正常化による景気回復期待、企業業績の回復期待から、世界株式市場は昨年末まで史上最高値を更新して上昇を続けました。ありがとうファンドの基準価額も昨年末までに高値を更新して29,000円台を付けましたが、今年年初からは一転して下落調整局面が続いております。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

インフレ高進リスクが高まり、各国中央銀行は金融政策を変更して利上げ・金融引締めに舵を切ったことにより、特にコロナ禍で大きく上昇したバリュエーションの高いグロース株を中心に大きく下落しました。さらに2月24日にロシアがウクライナに侵攻したことにより、地政学リスクが一気に高まることによるリスク回避の動きや、ロシアに対する経済制裁の影響による資源エネルギー価格の高騰などによって世界株式市場は大きく調整しました。

地政学リスク、インフレリスク、利上げ・金融引締めによる景気後退リスクが重なりボラティリティの高い先行き不透明なマーケット環境の中、ありがとうファンドの年間騰落率は-9.6%の下落となりました。参考までに世界株は+6.5%の上昇、日本株TOPIX配当込みは+2.5%の上昇となり、今期は相対的に出遅れた運用成果となりました。出遅れた大きな要因としては、コロナ禍で特に大きく上昇していたクオリティグロース銘柄の保有比率が大きくて利上げの影響で大きく調整したこと、利上げの恩恵を受ける金融セクターや資源エネルギー価格高騰の恩恵を受けるエネルギーセクターをほとんど保有していなかったこと、欧州株式のウェイトが相対的に高くウクライナ情勢の影響を大きく受けたこと等が大きな要因であると考えられます。



なお、運用報告の詳細につきましては、9月下旬頃に交付予定の「交付運用報告書」をご確認頂ければ幸いです。また、10月より3年ぶりに全国6ヶ所で運用報告会を開催させていただきますので、ご都合よろしければ是非ご参加いただければと思います。（詳細&お申込みは別紙セミナー案内をご覧ください）

長期的な時間軸で資産運用の王道を歩んでいく

ありがとうファンドの運用は今年から19年目に入ります。新型コロナパンデミック、地政学リスク、物価高騰、利上げ・金融引締め、歴史的な円安水準、景気後退懸念など先行き不透明な状況が続いておりますが、弊社はお客様の資産運用を一生涯サポートさせていただけるように、これからも皆さまから託されたお金を大切に運用して長期的に安定的な運用成果を目指していきたくと考えております。

コロナ禍も3年目に入り、世界では欧米中心に完全にウィズコロナの流れになってきております。欧米と比較して周回遅れの日本ですが、第7波が落ち着いてくればウィズコロナに向けて様々なコロナ規制や制限を緩和する動きが今後は加速してくると思われます。

現在、世界は物価高騰をいかに抑制していくかが最重要な課題になっており、景気後退リスクとのバランスをうまく取りながら利上げを進めています。半面、日本は金融政策の現状維持スタンスを変えないため完全に蚊帳の外の状態の中で、資源エネルギー価格、原材料・食糧価格の高騰、円安の影響を強く受けざるを得ない苦しい状況です。

このような世界情勢の中でも、弊社では、長期的な時間軸で物事を捉えて、短期的な相場動向に一喜一憂することなく、世界経済の成長及び企業の利益成長の恩恵を享受すべく長期・国際分散・厳選投資で基本に忠実に資産運用の王道を歩んで参ります。



今後ともありがとう投信をご愛顧いただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

★ 積立投資のすすめ！

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすめです♪

「定期積立サービス」とは

…毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていきながら、複利効果でリターンチャンスとなります。

②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場がいい時もよい時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。



③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。



タイミングを見計らうのではなく、
時間を味方につけていきましょう！

期間	平均取得単価	損益
1年	26,302円	▲3.5%
3年	22,502円	+12.9%
5年	20,593円	+23.3%
10年	16,364円	+55.2%
初回(2004年10月)から	12,431円	+104.3%

投資信託をいつ買えばよいか？とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、時間での分散が効果的です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくりと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価を平均化されることで、分散の効果が得られます。

＜ご参考＞毎月1万円積立した場合		
期間	投資額	評価額
1年	12万円	11万5858円
3年	36万円	40万6262円
5年	60万円	73万9870円
10年	120万円	186万2133円
初回(2004年10月)から	215万円	439万2011円

2022年8月31日現在(基準価額:25,394円)

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。

※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。

※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。

🌸 ありがとうファンド第18期決算を行いました。

2022年8月31日にありがとうファンドの第18期決算を行いました。

収益分配金につきましては、基準価額の水準、市況動向等の諸々の状況を勘案し、今期も引き続き**無分配**とさせていただきます。

決算内容詳細につきましては、9月末頃交付予定の「交付運用報告書」にてご確認いただきますようお願いいたします。
([こちら](#)に9月末頃掲載予定)

引き続きお客さまの資産運用を一生涯サポートできるように、長期国際分散投資で安定的な運用成果の提供を目指して参りますので、今後ともご愛顧の程何卒よろしくお願い申し上げます。



🌸 セミナーのお知らせ

お申し込みは弊社 HP まで♪ (<https://www.39asset.co.jp/html/seminar/index.htm>)

セミナータイトル	開催日	開催地	時間	講師
【今から考える！法律問題シリーズ】 第2回 泣き寝入りにならないための消費者トラブル対策	10月2日 (日)	東京	10:00～ 11:30	弁護士 宇田川 高史 氏 (CLOVER法律事務所)
「ありがとうファンド」第18期運用報告会	10月8日 (土)	札幌	13:30～ 15:30	長谷 俊介・真木 喬敏 (ありがとう投信)
「ありがとうファンド」第18期運用報告会	10月16日 (日)	仙台	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
「ありがとうファンド」第18期運用報告会	10月23日 (日)	福岡	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
「ありがとうファンド」第18期運用報告会	11月5日 (土)	大阪	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
「ありがとうファンド」第18期運用報告会	11月6日 (日)	名古屋	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
「ありがとうファンド」第18期運用報告会	11月13日 (日)	東京	10:00～ 12:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【今から考える！法律問題シリーズ】 第3回 高齢化社会で生じ得るトラブル対策	11月20日 (日)	東京	10:00～ 11:30	弁護士 宇田川 高史 氏 (CLOVER法律事務所)

別紙セミナー案内もご覧いただければと思います。



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

🌸 今月のFP情報コラム

弊社FPが家計に役立つ様々な情報を毎月発信していきます！
皆さまの金融リテラシー向上の一助になれば幸いです。



～公的年金の繰り下げ期間について～

2022年4月から公的年金の法改正があり年金受給の繰り上げ・繰り下げが変更されました。繰り下げ期間については70歳までだったのが、75歳まで繰り下げできるようになりました。繰り下げした場合、1ヶ月毎に0.7%年金額が増額されるので、今までは70歳まで繰り下げで最大42%の増額だったのが、75歳まで繰り下げると最大84%増額されることになります。人生100年時代、長生きリスクに備えるためには繰り下げの方がよいとメディアに登場する社労士やFPの方々がよく勧めています。65歳から受給した場合と比べて、計算上は何歳まで繰り下げても「11年11ヶ月」でもらえなかった期間分を取り戻せることになります。例えば、70歳まで繰り下げると81歳11ヶ月を超えて生きると取り戻せることになります。半面、税金や各種保険料控除後の手取りベースで考えると平均寿命まで生きるケースでは繰り下げした場合と繰り下げしなかった場合では、損得で言えばそれほど大きな差はないと考えられています。65歳以降も働くなどして定期的な収入があり家計収支に余裕がある方は、長生きリスクに備える保険目的として考えて繰り下げを検討してもよいのではないかと思います。なお、繰り下げに伴って在職老齢年金や加給年金の支給停止など注意すべき点があるので、繰り下げを検討される場合は年金事務所や年金相談センター、専門家に相談・確認してみるとよいでしょう。

大切なことは、退職後の老後生活設計をしっかりと立てることであり、家計収支と金融資産残高が今後どう推移していくのかキャッシュフロー表などを用いて試算してみることをおすすめします。

🌸 ありがとうの本棚

弊社役職員が最近読んだ本を紹介させていただくコーナーです。
資産運用や投資、金融や経済全般に関わらず様々な書籍を幅広く取り上げていきます。



～今月の一冊～

SDGsの大嘘（宝島社新書）新書 - 2022/5/27 池田 清彦（著）

過激なタイトルの本ではあるが中身はわかりやすく面白い。著者は人気TV番組でお馴染みの池田先生。昨今、SDGsはESGや脱炭素とともに、人類が持続可能な成長を続けていくためには必要な目標であり、未来に向けて推進すべき素晴らしい立派な考えとして、メディアやビジネスの世界では大きなブームになっている。SDGsに関連するビジネスにはたくさんのお金が集まって盛況のようだ。資産運用業界においても大きなトレンドになっておりSDGsやESG投資が盛んであり、新商品もたくさん開発されている。投資運用をする上でも考慮することは必須で無視できないファクターになっている。

そんな世界的な潮流に対して著者は本書の中で警鐘を鳴らしており、誰も反対できないような表面上の崇高さとは裏腹にトレードオフの関係にある明らかに矛盾する開発目標やSDGsを推進することが世界、日本、そして人類の将来にとって本当に良いことなのか、現実的な検証に基づいて疑問を投げかけている。SDGsやESG、脱炭素がビジネスや投資の世界で常識になっている今だからこそ、別の視点から自分の頭で考えるために読んでおいて損はない一冊だと思う。



毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	【新規で定期購入を申込】 【引落し口座変更】	【定期の引落とし金額を変更】 【定期引落しを中止】	【引落日】	【買付申込日】	【約定日】 (ファンドの購入日)
2022年 9月分	8月4日(木)	8月25日(木)	9月6日(火)	9月14日(水)	9月16日(金)
2022年 10月分	9月5日(月)	9月26日(月)	10月6日(木)	10月17日(月)	10月19日(水)
2022年 11月分	10月5日(水)	10月25日(火)	11月7日(月)	11月15日(火)	11月17日(木)
2022年 12月分	11月2日(水)	11月24日(木)	12月6日(火)	12月14日(水)	12月16日(金)

ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

9月	5日(月)	労働者の日	ニューヨーク証券取引所休業日
10月	-	-	-
11月	1日(火)	万聖節	ルクセンブルグの銀行休業日
	24日(木)	感謝祭	ニューヨーク証券取引所休業日



ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.99% (税抜 0.9%) 以内の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.55% ± 0.2% (概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税を含む)及び税金等の費用は信託財産から支払われます。また、その他、信託事務の処理に要する諸費用、監査費用、受託会社の立替えた立替金の利息等についても、信託財産の毎月末加重平均残高が 120 億円以上の場合には、諸経費のうち 100 万円(税抜き)までは信託財産から支払われます。※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】 騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。

■R&I ファンド大賞について

R&Iファンド大賞は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

<免責事項 | Disclaimer>

リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。

選定に際しては、「Lipper Leader Rating (リップパー・リーダー・レーティング)システム」の中の「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.comをご覧ください。Refinitiv Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。



「ありがとうファンド」 第18期運用報告会

3年ぶりに全国6ヶ所で運用報告会を開催いたします！

ありがとうファンドはおかげさまで8月末に第18期決算を無事に迎えることが出来ました。
これもひとえに皆さまのご支援の賜物であると感謝申し上げます。

つきましては、ありがとうファンド運用報告会を10月より3年ぶりに全国6都市で開催いたします！
第18期の運用報告と今後の見通し、運用方針について詳しくご報告させていただきます。
是非この機会にご参加頂ければ幸いです！

札幌

2022年10月8日(土) 13:30~15:30

かでる2. 7(北海道立道民活動振興センター)540会議室

仙台

2022年10月16日(日) 13:30~15:30

仙都会館7階A会議室

福岡

2022年10月23日(日) 13:30~15:30

アクロス福岡 会議室 602

大阪

2022年11月5日(土) 13:30~15:30

大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)
セミナー室2

名古屋

2022年11月6日(日) 13:30~15:30

ウインクあいち(愛知県産業労働センター)1210

東京

2022年11月13日(日) 10:00~12:00

ありがとう投信本社3F(東京千代田区内神田)



代表取締役社長
長谷俊介



ファンドマネージャー
真木喬敏

お申込みは、お電話・ホームページからどうぞ

URL : <https://www.39asset.co.jp/seminar/info/> フリーコール : 0800-888-3900



ありがとう投信
Arigato Asset Management inc.

今から考える！法律問題シリーズ

宇田川先生の大人気シリーズ「法律問題セミナー」を3年ぶりに開催いたします！

今年は『今から考える！法律問題シリーズ』としていわゆる“争族”にならないための円満な相続対策や消費者トラブル、社会問題にもなっている高齢化社会で生じ得るトラブル対策を取り上げて、皆さまと一緒に学んでいきたいと思います。

第1回

2022年8月7日（日）10:00～11:30
“争族”にならないための円満な相続対策

第2回

2022年10月2日（日）10:00～11:30（日程変更）
泣き寝入りにならないための消費者トラブル対策

第3回

2022年11月20日（日）10:00～11:30
高齢化社会で生じ得るトラブル対策

会場

ありがとう投信株式会社 本社3F
〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-15-9

参加費

無料（弊社お客様限定）

講師



CLOVER LAW OFFICE

弁護士 宇田川 高史 氏
（CLOVER 法律事務所）



お申込みは、お電話・ホームページからどうぞ

URL : <https://www.39asset.co.jp/seminar/> フリーコール : 0800-888-3900



ありがとう投信
Arigato Asset Management inc.